

ランチョンセミナーでは鳥取大学医学部 山本一博教授の「チーム医療の実践が医療レベルを向上させる：ハートチームの観点から」の講演を頂きました。また、パネルディスカッションでは「医師事務作業補助者の本音トーク」と題し、5人のパネラーに現状での問題点や改善要望など本音で討論していただき、盛況のうちに閉会いたしました。

### 第13回岡山県支部学術集会

学術集会会長：日本赤十字岡山赤十字病院院長 忠田正樹



会場風景

2013年9月28日(土)、岡山赤十字病院センター棟4階研修室で日本医療マネジメント学会第13回岡山県支部学術集会を開催致しました。メインテーマは「ITによる

医療情報ネットワークさらなる医療連携を目指して」とし、特別講演、シンポジウム、一般演題12題、ポスター発表12題、クリティカルパス展示4題で発表が行われ、278名の方にご参加をいただきました。

特別講演では厚生労働省政策統括官付情報政策担当参事官室 中安一幸氏よりテーマに沿った講演をいただきました。シンポジウムでは「医療ネットワーク岡山の現状と課題」とし、5名のシンポジストの方々に行政、開示施設、閲覧施設、もも脳ネット、事務局それぞれのお立場からの講演をいただきました。ITによる医療連携を進めていく中での国の取り組みの概要、晴れやかネットが2月にスタートした後の岡山県内の現状・課題などもご紹介いただき、有意義な連携について活発な意見交換が行われました。

本学術集会の開催にあたり、ご支援ご協力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます、開催報告とさせていただきます。

### 第13回北海道支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構北海道医療センター副院長 伊藤美夫



会場風景

第13回北海道支部学術集会を2013年11月3日(日)に札幌国際ビルで開催し、約100名の参加をいただきました。「病院のクライシスマネジメント～その時どう対応するか～」をテーマに掲げ、特

別講演1題、ランチョンセミナー1題、一般演題(口演)23題の発表が行われました。

特別講演では長岡赤十字病院救命救急センター長の内藤 万砂文先生をお迎えして「災害時の病院対応を考えるー救護活動8回の経験を通してー」と題し、災害現場・救護活動の写真を交えて、災害時に求められる病院の在り方についてご講演をいただきました。ランチョンセミナーでは、北海道大学病院医療安全管理部長の南須原 康行先生に、本研究会のテーマに沿って、医療事故発生時のクライシスマネジメントについてご講演いただき、北海道大学病院で実際に行っている対応方法を含め、分かりやすく解説していただきました。

一般演題では業務改善、医療情報、クリティカルパス、地域連携、感染管理、医療安全、救急、栄養、薬剤など多岐に渡る発表と討論が交わされました。皆様のご参加と、ご支援ならびにご協力に感謝申し上げます、開催報告とさせていただきます。

### 第4回新潟県支部学術集会

学術集会会長：日本歯科大学新潟病院教授 田中 彰

新潟県支部では、2013年11月9日(土)朱鷺メッセにて、第4回新潟県支部学術集会を開催いたしました。当日は、新潟県内の医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・MSW・事務員などの医療従事者約140名の参加がありました。今回の第4回からは、午前の部と午後の部の1日開催とし、午前の部では「新潟県内における地域連携パスの運用状況と今後の課題」と題し、大腿骨近位部骨折・脳卒中・がん・肝疾患の地域連携クリティカルパスの実践報告がありました。午後の部の特別講演では、「地域連携クリティカルパスによる口腔管理ー香川県・三豊観音寺地区におけるシームレス口腔ケアの実践例からー」と題して、三豊総合病院企業団歯科保健センター長 木村年秀先生を講師にお迎えし、ご講演いただきました。また、3つのカテゴリー区分で一般演題14演題の発表があり、活発な意見交換を行いました。当支部は、これからも各職種などの垣根を越えて、新潟の医療従事者すべての人が集える場として機能していきたいと思っております。最後になりますが、今回の第4回新潟県支部学術集会開催にあたり、ご協力をいただきました皆様に心からお礼申し上げます。

### 第14回茨城県支部学術集会

学術集会会長：公益財団法人筑波メディカルセンター

筑波メディカルセンター病院院長 軸屋智昭

「茨城のPFM(Patient Flow Management)を考えるー入院前から退院後まで患者を支え続けるために」を